**▶インターネットへの投稿について考えよう**

年　　　月　　日

**年生保護者の方へ**

（学校名を入れる）

　LINE、Facebookなどのソーシャルネットワークや、コミュニティサイト等の急激な普及により、誰でも気軽にインターネット上に投稿、発信することができるようになりました。しかし、インターネット上でのいじめ事案や不適切な投稿などのトラブルは、低学年でも報告されるようになっています。情報社会を生きる子ども達は、情報を発信する責任を自覚し、適切な情報を発信する力が求められます。

　学校では、「ネットへの投稿について考えよう」という学習を行いました。インターネットへ投稿、発信する際にはどのようなことに気をつけるべきなのか、家庭で話し合っていただきますようお願いいたします。

**１．インターネットの特性を意識しておきましょう。**

　インターネットには、「公開性」「拡散性」「記録性」という３つの大きな特性があります。投稿した情報は公開され拡散し、インターネット上や各個人のPCに半永久的に記録されます。この特性が良いこと、または悪いことにつながる投稿とはどのようなものか、日頃から家庭で話しておきましょう。良い例としては、町のPRや災害情報など広報、告知としての利用が挙げられます。一方、個人情報、悪口や嘘の情報などの投稿は悪いことにつながる例といえるでしょう。

　しかし、良いことにつながる投稿だと思っていても、良い結果にならない事例も知っておきましょう。例えば風景やペットの写真であっても、写真に撮影地の記録が残っていることもあり、投稿により居住地が特定されることがあります。また、災害時の支援要請の投稿も、真偽が定かでない情報の拡散は、災害救助の妨げになり得ます。勝手な判断で投稿せず、大人に相談するよう伝えてください。

**２．ワークシート保護者記入欄に感想をご記入ください。**

　ワークシートの下部に、家族の人から、という欄があります。学習内容について子どもと話し合った後、感想のご記入をお願いいたします。お子さんが、インターネット上でどのようなサイトを利用し、どのような発信、投稿を行なっているか、常に関心を持ち見守ってください。